

## 水道事業ガイドラインの業務指標からみた西宮市水道事業（令和5年度）

### 【安全で良質な水】

水源の種別・状況、浄水処理方法などを考慮し、配水系統ごとに、水源から給水栓（蛇口）に至るまでの各段階で適切な水質管理を行っています。

「A201 原水水質監視度」、「A202 給水栓水質検査（毎日）箇所密度」

水道水のおいしさ向上のため、給水栓（蛇口）で残留塩素濃度が0.1mg/L以上確保できていることを確認しながら、さらなる低減化を進める必要があります。

「A101 平均残留塩素濃度」

鉛製給水管については、鉛が給水管のごく一部にしか使用されていないため、通常の使用では安全性に問題がないことを確認していますが、解消に向けて計画的に取替えを進めています。

「A401 鉛製給水管率」

| 番号   | 業務指標                                    | R3   | R4   | R5   |
|------|---|------|------|------|
| A201 | 原水水質監視度（項目）                             | 53   | 29   | 29   |
| A202 | 給水栓水質検査（毎日）箇所密度（箇所/100km <sup>2</sup> ） | 16.3 | 16.3 | 16.3 |
| A101 | 平均残留塩素濃度（mg/L）                          | 0.75 | 0.72 | 0.74 |
| A401 | 鉛製給水管率（%）                               | 21.7 | 20.6 | 19.6 |

### 【安定した水の供給】

管路については、労務単価・資材単価の高騰等や、国による働き方改革推進の動きに伴う工事業者の週休二日制導入等により工事費用の増大や工期の長期化が生じているが、重要度や優先度を考慮しながら計画的・効率的に管路更新を進めています。

「B504 管路の更新率」、「B605 管路の耐震管率」、

「B606-2 基幹管路の耐震適合率」、「B607-2 重要給水施設配水管路の耐震適合率」

浄水場については、耐震基準を満たしていないため、鯨池浄水場を再整備する検討を行っており、丸山浄水場は今後のあり方を検討していく必要があります。

「B602 浄水施設の耐震化率」

本市では、阪神水道企業団及び兵庫県営水道からの受水が配水量の大半を占めていることから、配水池の容量は低い状況にあります。水道システム全体として安定供給が継続できるようバックアップ機能の強化を図っています。また、耐震基準を満たしていない配水池については、耐震化工事の設計業務等を進めています。

「B113 配水池貯留能力」、「B604 配水池の耐震化率」

水道事業において使用するエネルギーの大部分を占めている電力消費量は、配水量 1m<sup>3</sup> 当たりで低い水準にあります。さらなる効率化を図るため、送配水システムの再構築を進めています。

工事で発生する土砂は可能な限り現場内で再利用し、コンクリートやアスファルト等を再資源化施設へ搬出することにより、建設副産物のリサイクル率は高い水準を維持しています。

「B301 配水量 1m<sup>3</sup> 当たり電力消費量」、「B306 建設副産物のリサイクル率」

| 番号     | 業務指標   | R3   | R4   | R5   |
|--------|--|------|------|------|
| B504   | 管路の更新率 (%)   | 0.58 | 1.00 | 0.84 |
| B605   | 管路の耐震管率 (%)  | 25.5 | 26.4 | 27.2 |
| B606-2 | 基幹管路の耐震適合率 (%)                                     | 59.2 | 59.6 | 60.7 |
| B607-2 | 重要給水施設配水管路の耐震適合率 (%)                               | 74.1 | 83.3 | 86.5 |
| B602   | 浄水施設の耐震化率 (%)                                      | 0.0  | 0.0  | 0.0  |
| B113   | 配水池貯留能力 (日)  | 0.33 | 0.33 | 0.34 |
| B604   | 配水池の耐震化率 (%)                                       | 71.2 | 71.2 | 72.3 |
| B301   | 配水量 1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量 (kWh/m <sup>3</sup> ) | 0.15 | 0.15 | 0.15 |
| B306   | 建設副産物のリサイクル率 (%)                                   | 99.8 | 89.3 | 99.9 |

#### 【健全な事業経営】

平成 28 年度の料金改定により、水需要の減少に対応した料金体系へ見直しを行った結果、給水にかかる費用を適正に水道料金から確保できています。有収水量の減少に伴う給水収益の減少により、料金回収率は 100%を下回っていますが、経常収支比率・総収支比率は 100%を一定程度上回っているため、財政状況は健全であると言えます。引き続き経費削減等により経営基盤の強化を図ります。

「C113 料金回収率」、「C101 営業収支比率」、「C102 経常収支比率」、「C103 総収支比率」

給水収益に対する企業債残高の割合は、企業債残高の増及び給水収益の減により微増傾向にあります。適正な水準となっています。

今後、施設・管路の整備事業の増加が見込まれるため、資金及び企業債の残高を確認しながら、適切な規模で企業債を発行し、更新需要の財源として活用していきます。

「C112 給水収益に対する企業債残高の割合」

| 番号   | 業務指標                 | R3    | R4    | R5    |
|------|----------------------|-------|-------|-------|
| C113 | 料金回収率 (%)            | 102.9 | 98.4  | 99.1  |
| C101 | 営業収支比率 (%)           | 101.8 | 97.3  | 98.1  |
| C102 | 経常収支比率 (%)           | 111.1 | 106.0 | 106.8 |
| C103 | 総収支比率 (%)            | 111.7 | 106.0 | 106.8 |
| C112 | 給水収益に対する企業債残高の割合 (%) | 223.0 | 227.9 | 232.6 |